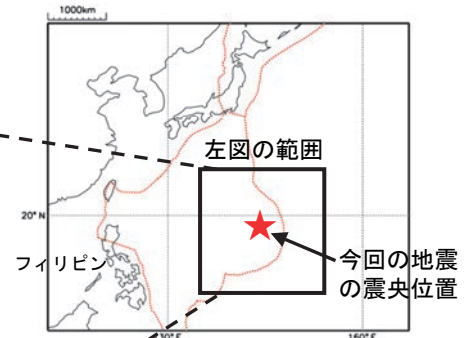
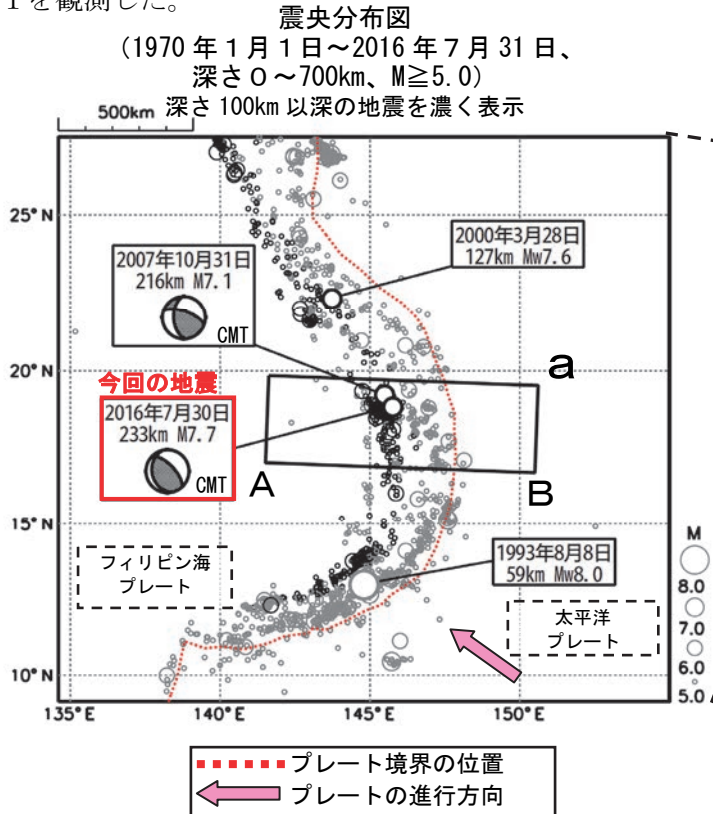


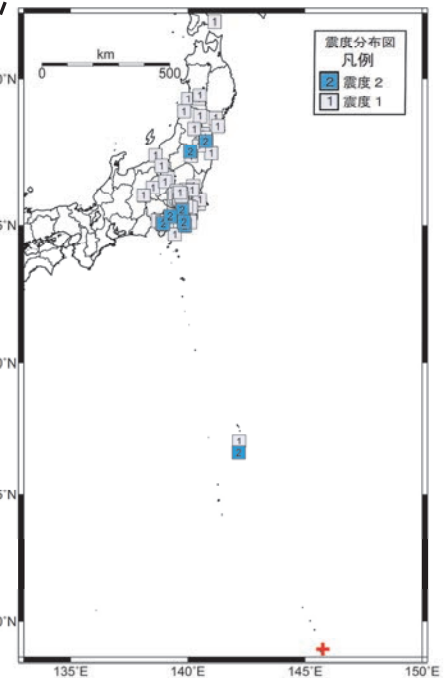
7 月 30 日 マリアナ諸島の地震

2016 年 7 月 30 日 06 時 18 分（日本時間、以下同じ）にマリアナ諸島の深さ 233km で M7.7 の地震が発生し、日本国内で最大震度 2 を観測した。この地震の発震機構（気象庁による CMT 解）は、太平洋プレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した地震である。マリアナ諸島付近では、太平洋プレートがフィリピン海プレートの下に高角で沈み込んでいる。

1970 年以降の活動をみると、今回の地震の震源周辺（領域 b）では、M5 を超える地震が定常的に発生していて、M7 を超える地震は今回の地震を含め、2 回発生している。この周辺で発生する地震で、日本国内でも震度 1 以上を観測することがあり、2007 年 10 月 31 日に発生した M7.1 の地震では、最大震度 1 を観測した。

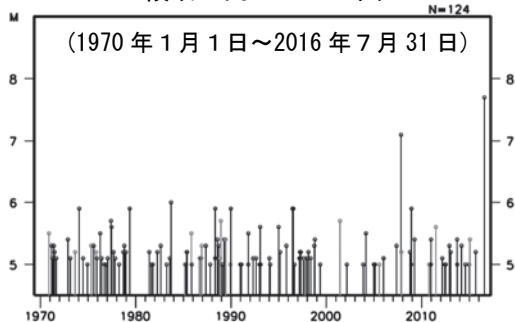


今回の地震の震度分布図
 (+印は震央を示す)

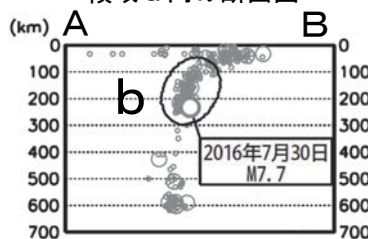


プレートの進行方向は、フィリピン海プレートを固定した場合の相対的な方向である。

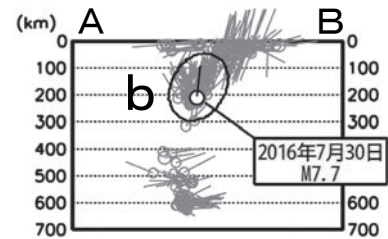
領域 b 内の M-T 図



領域 a 内の断面図



領域 a 内の張力軸分布図
 (Global CMT 解による)



※震源から伸びる直線は、張力軸の方向を示す

※本資料中、今回の地震と 2007 年 10 月 31 日の地震の発震機構と震源要素及び M は気象庁による。その他の地震の震源要素と Mw は米国地質調査所 (USGS) による。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) * より引用。

* 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.